周囲の自然と調和を図った、シンプルな外観デザイン

校舎と体育館を一体化し、安心・環境・コストに配慮

古平町立古平小学校 ｜ 設計・監理：サン設計事務所

北海道の積丹半島に位置する古平町に半世紀前、道内最初の鉄筋コンクリート造の小学校が誕生。このたび老朽化と耐震化等から、新たな校舎に生まれ変わった。

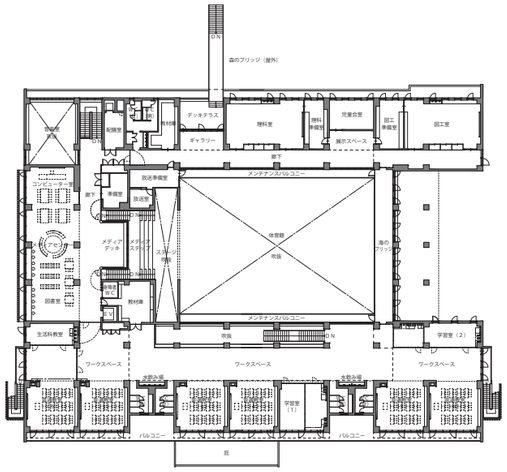
旧校舎には大きな中庭があり、この慣れ親しんだ空間を継承するため体育館を取り囲むように教室やワークスペース・廊下等を配置し、全天候型の「中庭」とした。体育館を動線の中心軸とすることで、どの方向からも目が届き、教職員が安心して児童を見守れる空間とした。校舎棟と体育館棟を一体化したコンパクトな設計は外壁面積を抑え、外気からの熱負荷を軽減し暖房費等のランニングコスト低減と、構造躯体を供用することでイニシャルコストの軽減化を図っている。また、周囲の自然林を多く残すことにも配慮した。校舎の床や壁には多くの道産材を活用し、周辺の自然林と調和した色彩となっている。建物を塩害や風雪から守るため外断熱工法を採用し、躯体の長寿命化や省エネルギー化も高めた。

普通教室は2階南側にまとめて配置し、自然光を利用したライトシェルフを採用。教室という枠組みを無くしたオープンクラスにより、学年を越えたコミュニケーションを促進し、時代や教育環境の変化に対応できる学校をめざした。管理関係諸室は、子供達の様子が目に届くよう1階に設置。災害時の緊急避難場所として防災備品庫を設け、耐久性・耐震性を併せ持つ建築構造とした。給食センターは、オール電化厨房導入で室内環境を清潔に保っている。

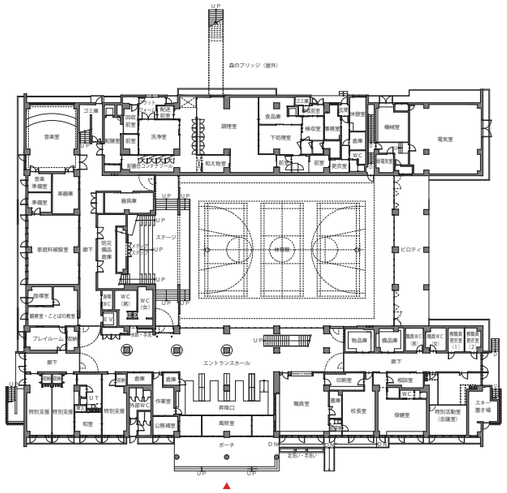
（岡田光章・吉岡雄一）

所　在　地　北海道古平郡古平町大字浜町 370 番地の２他
建　築　主　古平町
用　　途　小学校　給食センター
定　　員　普通学級 96 名　特別支援学級４名
施　　工　建築：前田・小田嶋 JV
　　設備：北海電気工事
構造・規模　RC 造一部 S 造　地上２階　地下１階
敷地面積　12,845.58㎡
延床面積　4,966.52㎡
竣　　工　2012 年２月

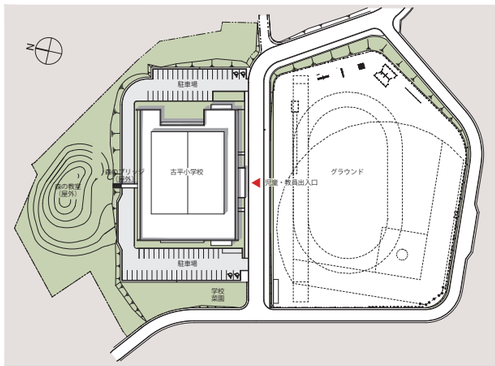
校舎は美しい積丹の海を、一望できる高台に位置する



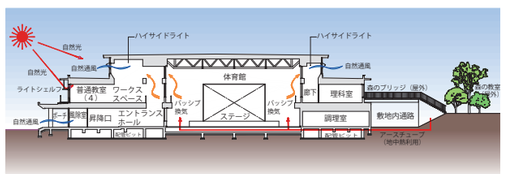
２階平面図



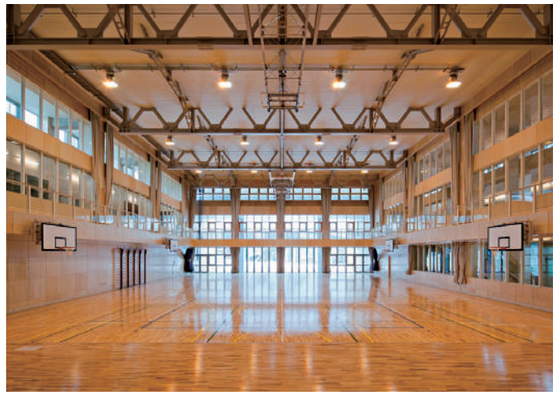
１階平面図



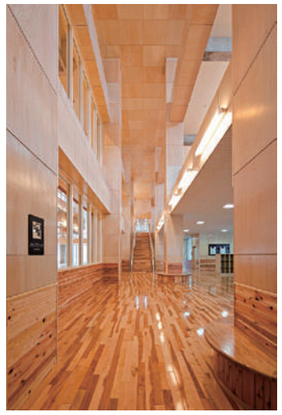
配置図



断面図



古平の街並みと日本海に開かれた、体育館の開口部



エントランスのベンチは、衝突防止と憩いの場となる

校舎からデッキテラスを渡り、「森の教室」へつながる

教室には、ライトシェルフにより柔らかな光が注ぐ

体育館には全天候型の「中庭」として、児童が集う